



オンプレミスの**ONTAP**クラスタを管理する

On-premises ONTAP clusters

NetApp
November 06, 2025

目次

オンプレミスのONTAPクラスタを管理する	1
NetApp Consoleで直接検出されたクラスタを管理する	1
コンソールエージェントで検出されたクラスタを管理する	2
NetApp ConsoleからFlexVolボリュームを作成する	3
NetApp ConsoleAPIを使用してFlexGroupボリュームを作成する	4
NetApp ConsoleからONTAP System Managerにアクセスする	4
NetAppデータサービスを有効にする	6
クラスタ情報と契約の詳細を表示する	6
NetApp Digital Advisorを使用してクラスタを最適化する	7
機能	7
サポートされているONTAPシステム	7
詳細情報	7
NetApp ConsoleからオンプレミスのONTAPシステムを削除する	7

オンプレミスのONTAPクラスタを管理する

NetApp Consoleで直接検出されたクラスタを管理する

コンソール エージェントを使用せずにオンプレミスのONTAPクラスタを直接検出した場合は、コンソールでシステムを開いてクラスタを管理し、ONTAP System Managerにアクセスできます。

必要なコンソールロール:

ストレージ管理者またはシステムヘルススペシャリスト。"[コンソール アクセス ロールについて学習します。](#)"

開始する前に

コンソールにアクセスするために使用するコンピューターには、プライベート ネットワーク内の他のリソースへの接続を提供するのと同様に、オンプレミスのONTAPクラスタへのネットワーク接続が必要です。

制限事項

一部の System Manager 機能はコンソールからはサポートされません。

"[制限事項のリストを確認する](#)"。

手順

1. システム ページで、オンプレミスのONTAPシステムを選択します。

システム アイコンは、直接検出されたクラスタを識別します。



2. プロンプトが表示されたら、ONTAP の認証情報を入力します。

認証情報を保存しない限り、システムを開くたびにONTAP認証情報を使用してログインするように求められます。認証情報を保存するオプションがあり、これにより毎回入力する必要がなくなります。これらの認証情報は「ユーザー認証情報」ページで管理できます。場合によっては、コンソール管理者 (組織管理者ロールを持つ) がこのオプションを無効にしている、毎回資格情報を入力するように要求することがあります。

ONTAP Cluster Credentials

Enter credentials for ONTAP Cluster

ONTAP Cluster IP: 192.168. 1.1

User name

Password

Save the credentials ⓘ

3. System Manager を使用してONTAPを管理します。

ONTAPでSystem Managerを使用する際にヘルプが必要な場合は、以下を参照してください。"[ONTAPのドキュメント](#)"ステップバイステップの手順についてはこちらをご覧ください。次のリンクでは追加のガイダンスを提供します。

- "[ボリュームとLUNの管理](#)"
- "[ネットワーク管理](#)"
- "[データ保護](#)"

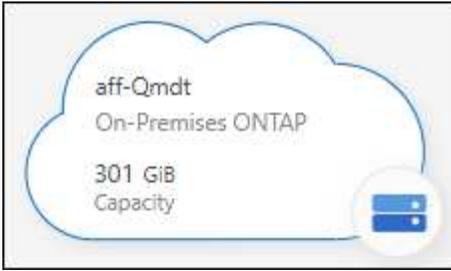
コンソールエージェントで検出されたクラスターを管理する

コンソール エージェントを使用してオンプレミスのONTAPクラスターを検出した場合は、NetApp Consoleから直接ボリュームを作成し、ONTAP System Manager に (コンソールから直接) アクセスして高度な管理を行い、NetAppデータ サービスを有効にすることができます。

必要なNetApp Consoleロール:

ストレージ管理者またはシステムヘルススペシャリスト。"[コンソール アクセス ロールについて学習します。](#)"

システム ページでは、コンソール エージェントで検出されたクラスターのシステム アイコンは次のようになります。



システムを直接検出した場合、システム アイコンに「Direct」という単語が表示されます。

NetApp ConsoleからFlexVolボリュームを作成する

コンソール エージェントを使用してオンプレミスのONTAPクラスターをコンソールに追加した後、コンソールから直接FlexVolボリュームをプロビジョニングおよび管理できます。

コンソールを使用すると、既存のアグリゲート上に NFS または CIFS ボリュームを作成できます。ネイティブ コンソール ページからオンプレミスのONTAPクラスターに新しいアグリゲートを作成することはできません。ただし、コンソールからそれぞれのONTAP System Manager にアクセスしてアグリゲートを作成することはできます。

手順

1. ナビゲーション メニューから、ストレージ > 管理 を選択します。
2. システム ページで、ボリュームをプロビジョニングするオンプレミスのONTAPクラスターを選択します。
3. *ボリューム > ボリュームの追加*を選択します。
4. ウィザードの手順に従ってボリュームを作成します。
 - a. 詳細、保護、タグ: ボリュームの名前やサイズなどの詳細情報を入力し、スナップショット ポリシーを選択します。

このページの一部のフィールドは説明不要です。次のリストでは、ガイダンスが必要になる可能性のあるフィールドについて説明します。

フィールド	説明
サイズ	最大サイズは、シン プロビジョニングを有効にするかどうかによって異なり、シン プロビジョニングを有効にすると、使用可能な物理ストレージよりも大きなボリュームを作成できます。
スナップショットポリシー	スナップショット コピー ポリシーは、NetAppスナップショット コピーが作成される頻度と数を定義します。NetAppスナップショット コピーは、パフォーマンスに影響を与えず、最小限のストレージしか必要としない、ポイントインタイム ファイル システム イメージです。デフォルトのポリシーを選択するか、ポリシーなしを選択できます。Microsoft SQL Server の一時データベース (tempdb) などの一時データの場合は、none を選択できます。

- b. プロトコル: ボリュームのプロトコル (NFS、CIFS、または iSCSI) を選択し、ボリュームのアクセス制御または権限を設定します。

サーバーなしで CIFS を選択した場合、Active Directory またはワークグループを使用してサーバーを

構成するように求めるプロンプトが表示されます。

次のリストでは、ガイダンスが必要になる可能性のあるフィールドについて説明します。

フィールド	説明
アクセス制御	NFS エクスポート ポリシーは、ボリュームにアクセスできるサブネット内のクライアントを定義します。デフォルトでは、コンソールはサブネット内のすべてのインスタンスへのアクセスを提供する値を入力します。
権限とユーザー/グループ	これらのフィールドを使用すると、ユーザーとグループの SMB 共有へのアクセス レベル (アクセス制御リストまたは ACL と呼ばれます) を制御できます。ローカルまたはドメインの Windows ユーザーまたはグループ、あるいは UNIX ユーザーまたはグループを指定できます。ドメイン Windows ユーザー名を指定する場合は、domain\username の形式を使用してユーザーのドメインを含める必要があります。

- 使用プロファイル: 必要なストレージの合計量を削減するために、ボリューム上のストレージ効率機能を有効にするか無効にするかを選択します。
- 確認: ボリュームの詳細を確認し、[追加] を選択します。

NetApp ConsoleAPIを使用してFlexGroupボリュームを作成する

NetApp ConsoleAPI を使用してFlexGroupボリュームを作成できます。FlexGroupボリュームは、ハイパフォーマンスと自動負荷分散を実現するスケールアウト ボリュームです。

- ["APIを使用してFlexGroupボリュームを作成する方法を学びます"](#)
- ["FlexGroupボリュームとは何かを学ぶ"](#)

NetApp ConsoleからONTAP System Managerにアクセスする

コンソール内から直接ONTAP System Manager インターフェイスにアクセスできます。

機能

コンソールからONTAP System Manager にアクセスすると、追加の管理機能にアクセスできます。

- 高度なストレージ管理
整合性グループ、共有、qtree、クォータ、およびストレージ VM を管理します。
- ネットワーク管理
IPspace、ネットワーク インターフェイス、ポートセット、およびイーサネット ポートを管理します。
- イベントと仕事
イベント ログ、システム アラート、ジョブ、監査ログを表示します。
- 高度なデータ保護
ストレージ VM、LUN、整合性グループを保護します。

- ホスト管理

SAN イニシエーター グループと NFS クライアントを設定します。

サポートされている構成

System Manager による高度な管理は、9.10.0 以降を実行しているオンプレミスのONTAPクラスターでサポートされます。

System Manager の統合は、GovCloud リージョンまたはアウトバウンド インターネット アクセスがないリージョンではサポートされません。

制限事項

コンソール経由でONTAP System Manager にアクセスする場合、オンプレミスのONTAPクラスターではいくつかの System Manager 機能がサポートされません。

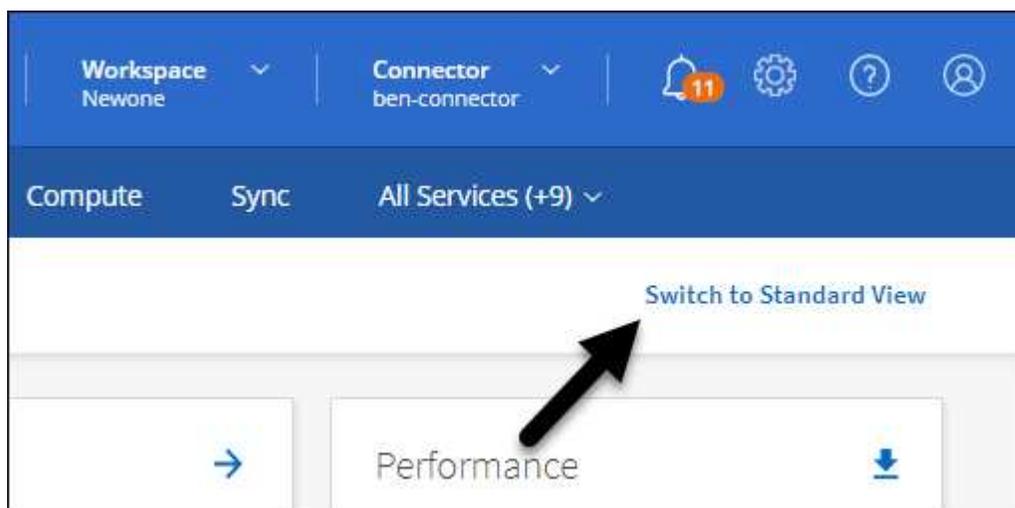
"[制限事項のリストを確認する](#)".

NetApp ConsoleからONTAP System Managerにアクセスする

システムのシステム マネージャーを開きます。

手順

1. システム ページで、ボリュームをプロビジョニングするオンプレミスのONTAPクラスターを選択します。
2. 右側のパネルの「サービス」の下で、「システム マネージャー」を見つけ、「開く」を選択します。
3. 確認メッセージが表示された場合は、内容を読んで「閉じる」を選択します。
4. System Manager を使用してONTAPを管理します。
5. 必要に応じて、[標準ビューに切り替える] を選択して、コンソールを介した標準管理に戻ります。



システムマネージャーのヘルプを取得する

ONTAPでSystem Managerを使用する際にヘルプが必要な場合は、以下を参照してください。"[ONTAPのドキュメント](#)"ステップバイステップの手順についてはこちらをご覧ください。役立つかもしれないリンクをいくつか紹介します。

- "[ボリュームとLUNの管理](#)"
- "[ネットワーク管理](#)"
- "[データ保護](#)"

NetAppデータサービスを有効にする

システム上でNetAppデータ サービスを有効にして、データの複製、データのバックアップ、データの階層化などを行います。

データを複製する

Cloud Volumes ONTAPシステム、Amazon FSx for ONTAPファイルシステム、ONTAPクラスター間でデータを複製します。クラウドとの間でデータを移動するのに役立つ1回限りのデータ レプリケーション、または災害復旧や長期のデータ保持に役立つ定期的なスケジュールを選択します。

["NetApp Replicationのドキュメント"](#)

データのバックアップ

オンプレミスのONTAPシステムからクラウド内の低コストのオブジェクト ストレージにデータをバックアップします。

["NetApp Backup and Recoveryのドキュメント"](#)

データをスキャン、マッピング、分類する

企業のオンプレミス クラスターをスキャンして、データをマッピングおよび分類し、個人情報を識別します。これにより、セキュリティとコンプライアンスのリスクが軽減され、ストレージ コストが削減され、データ移行プロジェクトが支援されます。

["NetApp Data Classificationドキュメント"](#)

クラウドへのデータの階層化

ONTAPクラスターからオブジェクト ストレージに非アクティブなデータを自動的に階層化することで、データ センターをクラウドに拡張します。

["NetApp Cloud Tieringドキュメント"](#)

容量の低いクラスターを特定する

容量が低いクラスターを特定し、現在の容量と予測容量を確認します。

["NetAppライフサイクル計画ドキュメント"](#)

クラスター情報と契約の詳細を表示する

NetApp Consoleで、オンプレミスの各ONTAPクラスターの契約詳細を表示できます。ク

ラスターをまだ検出していない場合は、[サブスクリプションとライセンス] ページから検出することもできます。

必要なコンソールロール:

ストレージ管理者またはストレージ閲覧者。"[NetApp Consoleのアクセス ロールについて学習します。](#)"

"[コンソールからオンプレミスのONTAPクラスタのライセンスを管理する方法の詳細](#)"

NetApp Digital Advisorを使用してクラスタを最適化する

NetApp Digital Advisor を使用すると、ONTAPクラスタの運用、セキュリティ、パフォーマンスを最適化できます。

機能

Digital Advisorを使用すると、ストレージシステムの全体的なステータス、システムの健全性に関する概要情報、インベントリ、計画、アップグレード、貴重な洞察をウォッチリスト レベルで表示できます。

- ストレージシステムの健全性を分析して最適化します
- ストレージシステムに対するあらゆるリスクと、リスクを軽減するための対策に関する洞察を得る
- パフォーマンスデータをグラフ形式で表示して、ストレージデバイスのパフォーマンスを分析します。
- 90% の容量を超えた、または 90% の容量に近づいているシステムの詳細を取得します。
- 有効期限が切れた、または今後 6 か月以内に有効期限が近づくハードウェアとソフトウェアに関する情報を取得します。
- Ansibleを使用してストレージシステムソフトウェアをアップグレードし、ONTAPファームウェアを更新します。

サポートされているONTAPシステム

Digital Advisor は、NetAppサポート サイト (NSS) アカウントに関連付けられているすべてのオンプレミスONTAPシステムとCloud Volumes ONTAPシステムに関する情報を提供します。

詳細情報

"[Digital Advisorのドキュメント](#)"

NetApp ConsoleからオンプレミスのONTAPシステムを削除する

コンソールからオンプレミスのONTAPシステムを管理する必要がなくなった場合は、それを削除します。

必要なコンソールロール:

ストレージ管理者。"[NetApp Consoleのアクセス ロールについて学習します。](#)"

システムを削除しても、ONTAPクラスタには影響しません。いつでもコンソールから再発見できます。

手順

1. ナビゲーションメニューから、ストレージ > 管理 を選択します。
2. システム ページでオンプレミスのONTAPシステムを選択します。
3. メニューアイコンを選択し、「ワークスペースから削除」を選択します。
4. *削除*を選択して確認します。

著作権に関する情報

Copyright © 2025 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および/または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。